

1

リスクアセスメントの手法で 危険の芽を摘み取ろう

職場では多種多様な作業が行われ、また、新たな作業方法の採用、変更及び作業の機械化などが進んでおり、それらの実態や特性にあった安全衛生対策を行っていく必要性が高まっています。職場にある様々な危険の芽（リスク）を見つけ出し、災害に至る前に、先手を打って対策を施し、リスクの除去・低減措置を行い、更なる労働災害の減少を図るための手法の一つに「リスクアセスメント」があります。

スーパーマーケットやホームセンターなどが属する各種商品卸・小売業における休業4日以上の死傷災害について見ると、年間4,000件程度発生しております。また、各種商品小売業においては、度数率（100万延べ実労働時間あたりの労働災害による死傷者数）を全産業と比較しますと、大幅に上回っており、災害の発生頻度の高い業種といえます。また、災害の種類である「事故の型別」を見ると、「転倒」によるものが4分の1以上を占めるなど、「作業行動」に伴う災害が全体の半数を占めております。

このように、流通・小売業では、危険を伴う作業はそれほど多くありませんが、たくさんの種類の作業があり、また、労働者の入れかわりが多いため、ちょっとした不注意や慣れにより、災害につながりやすいといえます。

本マニュアルは、流通・小売業に限らず、様々な業種で行われる「作業行動」に伴う災害を防止するためのリスクアセスメントの実施のすすめ方をまとめたものです。このマニュアルを活用して、災害防止に努めましょう。

2

各種商品卸・小売業における事故の型別労働災害発生状況(休業4日以上の死傷災害)

年	墜落 転落	転倒	衝突	飛来 落下	崩壊 倒壊	激突 され	はさまれ 巻き込まれ	切れ こすれ	高温低温物 との接触	動作の反動 無理な動作	交通 事故	その他 分類不能	合 計
平成13	488	1,154	188	221	125	142	328	596	103	618	130	87	4,180
14	462	1,134	182	244	118	167	323	623	98	621	109	67	4,148
15	469	1,130	193	250	108	179	309	653	103	654	122	53	4,223
16	450	1,097	181	225	107	145	313	573	93	666	73	61	3,984
17	410	1,192	191	233	119	165	293	557	82	633	80	49	4,004
17年 割合(%)	10.3	29.8	4.8	5.8	3.0	4.1	7.3	13.9	2.0	15.8	2.0	1.2	100.0

資料出所：労働者死傷病報告（厚生労働省労働基準局安全衛生部）

度数率及び強度率

	平成16年		平成17年	
	死傷度数率	強度率	死傷度数率	強度率
全産業	1.85	0.12	1.95	0.12
各種商品卸売業	0.39	0.00	0.58	0.02
各種商品小売業	3.37	0.14	2.85	0.04

資料出所：平成18年動向調査（厚生労働省）

度数率及び強度率

度数率：事業場・企業の100万労働時間あたりに発生する死傷者数の比率

強度率：災害の軽重の程度を表す指標で延実労働時間1000時間あたりの延労働損失日数の比率